



学校だより

とき・あかし錦城

2021年(令和3年)

5月7日(第74号)

明石市立錦城中学校

学校のきまり

学校長 谷郷 昌弘

昨年度来、メディアが校則の見直しについて取り上げることが増えてきました。新聞でも大きく記事が載り、注目が集まっているところです。

錦城中学校でも、昨年12月より「きまりについて考える会」をスタートさせました。生徒会執行部、PTA本部役員、教員が意見を出し合っ、校則について検討を重ねています。6月には第3回の会を持つ予定です。

社会には、校則について様々な考えをお持ちの方がいらっしゃると思います。現状の校則で問題はないからそのまま継続すればよいという人もあれば、校則は一切無くすのがよいという人もおられるでしょう。

そこで、今一度皆さんに考えてほしいのは、「何のために」「誰のために」校則が作られたのかということです。言うまでもなく、校則は「生徒の皆さんが安全に、気持ちよく学校生活を送れる」ことを目的にして存在しているはずで、今、校則に注目が集まっているのは、その内容に現代の一般的な感覚から外れている部分があると多くの人が思っているからでしょう。時代にあわせて変えていくことは当然のことです。みなさんの利益のためにしっかりと見直しの作業を進めたいと思います。

日本では明治以来、様々なきまり(法律など)がたくさん作られてきました。今も増え続けています。新しい法律ができたことで救われる人もたくさんいるでしょう。しかし、以前はお互いの譲り合いや道徳心でなんとかこなしていたものが、文字ではつきり決めないと収まりがつかなくなってきたということでもあります。

きまりは少ないに越したことはありません。でも、無くせばそれでよいのかと言えば、そうとも言えません。校則も同じことではないかと思ひます。「守らされている」ではなく、進んで「守っている」のが理想です。その理想に近づくためにも、一人ひとりが校則についてしっかりと考え、意見を持つことが大切と思ひます。

今進めている「きまりについて考える会」を通して、校則が「進んで守ろうとするもの」に近づいていくよう願っています。

暦(こよみ)の上では夏のスタートです

5月5日のこどもの日は立夏、夏のはじまりでした。

朝夕はまだまだ肌寒さが残りますが、これからは夏日(最高気温が25℃以上の日)になることもあります。朝と昼の気温差が20℃という日もありそうです。体調を崩しやすくなるので気をつけてください。

さて、もう夏の始まりというなら、秋はいつ始まるのでしょうか。一つの季節が約3カ月続くと考えると、秋は8月の初旬ということになります。まだまだ暑い時期なのに秋とは…

袖ひちてむすびし水のこほれるを春立つけふの風やとくらむ (紀貫之 古今和歌集)

秋来ぬと目にはさやかに見えねども風の音にぞおどろかれぬ(藤原敏行 古今和歌集)

まだ氷が張る中、吹く風に春の匂いを知り、強い日差しの中、吹く風に秋の足音を聞く。日本人は古来季節の移り変わりに敏感だったようです。今の私たちはどうでしょうか。



SNS

中高生(小学生も)のSNSトラブルをニュースで目にする事が多くなりました。軽い気持ちで、悪ふざけのつもりで個人情報や写真などを載せてしまう。それがいつの間にか大きな問題を引き起こしてしまったというものです。

毎年、錦城中学校では「情報モラル講習」として、専門家に来ていただき、インターネットやスマホを安全に使う方法と注意点について教えていただいています。

また、都道府県の警察本部にはSNS上の問題のありそうなやり取りを見つけ出すチームがあり、保護者、本人ともに指導されることもあるようです。

今、「自分のしていることはいけないこと」と知りながら、個人情報を流したり、人の悪口を書き込んだりしている人がいるならば、今すぐにやめましょう。大ごとになる、ということは警察のお世話になる、ということです。

SNSは正しく使えばたいへん役に立つものですが、使い方を誤れば、トラブルを引き起こし、犯罪に巻き込まれたり、時には加害者となってしまったりすることもあります。

「人の振り見て我が振り直せ」「親しき中にも礼儀あり」と言ひます。みんなやっけるから、と安易に考えず、普段からお家の人とSNSについて話題にすることを勧めます。それが、あなた自身を守ることにつながるのです。